

会 議 録

会議名	令和元年度 第2回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和元年8月23日(金) 13:30~15:50
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>出席委員 鹿子嶋仁、高濱和則、岩永十紀子、佐藤友光子、桑田桃子、佐藤常光、宮武稔</p> <p>事務局 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 野本政宏、 主査 宇野大志郎</p>
議 題	1. 所管課ヒアリング 2. その他
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、第2回目の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p> <p>以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、ヒアリングに入ります前に、現在7名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>今回のヒアリングの方法などについて確認しておきたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	<資料に基づき説明>
桑田委員	<p>評価事業のなかで委託事業もありますが、委託先の取組を評価するのではなく、行政の取組としてどうかという視点で評価すれば良いですか。</p>
秘書政策課 宇野	<p>委託は市側がお願いしているものなので、その業務に課題があればご意見をいただければと思います。</p>
窪田課長	<p>委託した意図なども確認していただいかまいません。</p> <p style="text-align: center;">(以下、ヒアリングの状況)</p> <p>1. スポーツを通じたにぎわいづくりの推進 (ヒアリングに出席したスポーツ推進課職員) 課長 重成英司、市民体育担当長 香川賢史</p>

鹿子嶋会長	パラリンピックなどの障がい者スポーツもスポーツ推進課の所管ですか。
重成課長	市の障がい者スポーツ大会などは福祉課の所管で、私どもが担当しているスポーツ推進員と協力して実施しています。
鹿子嶋会長	市民球場利活用推進事業は、もう少し利活用が多くても良いと思います。
香川担当長	高校野球など本来の利用も多く、芝生などグラウンドの維持管理面も踏まえた稼働状況となっています。
重成課長	グラウンドのクオリティ維持には力を入れており、今年度からの指定管理者である体育協会にも市の考えを伝えています。
鹿子嶋会長	スポーツ推進課の職員は何名体制ですか。
重成課長	現在は10名です。
桑田委員	様々なイベントを開催されているようですが、実際の集客数が予定数に届いていないように見受けられます。宣伝方法はどのようにされていますか。
香川担当長	例えばウェスタンリーグ公式戦であれば、瀬戸内中讃定住自立圏内の小学生に無料チケットを配布するほか、チケットの売上場所の状況分析から、高松市内の小中学校にもチラシを配布し、TVのCMも流しています。今年は5回目の開催ですが過去最高の集客となっています。
桑田委員	企業広告を兼ねた無料チケットなどもあると思いますが、売上に上がらない入場者がどのくらいの割合を占めていて、費用対効果にどの程度影響があるのでしょうか。
重成課長	入場者数のうち1割もない程度です。コンビニでのチケット購入者が約8割となっています。
鹿子嶋会長	ウェスタンリーグの入場者数の推移は変わらないですか。
重成課長	対戦カードや天候、看板選手の有無も影響します。
佐藤（常）委員	Jリーグは、カマタマーレ讃岐がJ2からJ3になり観客数は落ちていますか。また、スポーツ少年団の子どもたちに親しみを持ってもらう取組はありますか。
香川担当長	そもそも試合数が減ります。ホームゲームの入場者数平均が、昨年3,000人程

	度であったのに対し、今年は今時点で2,100人ほどとなっています。
重成課長	子どもたちへの啓発は、香川県地域密着型スポーツ活用協議会での取組の一環として実施しています。
岩永委員	にぎわいづくりが目的という理由からでしょうか、野球やサッカーのほか、バレーボール、ソフトボールなど人が集まりやすいスポーツに特化しているようですが、テニスや卓球などの種目はどう考えていますか。
重成課長	県の活用協議会が、そもそも地域密着型のプロスポーツである野球、サッカー、バスケットボール、アイスホッケーの4種目について事業を推進しています。
佐藤（友）委員	ハーフマラソンはスポーツ推進課の業務ですか。
重成課長	今回の事業には含まれませんが、別の予算事業でスポーツ推進課が担当しており、丸亀市にとってはにぎわいづくりの面で最も大きなスポーツイベントとなっています。県と市、香川陸上競技協会が協力して開催しています。
岩永委員	なでしこのCM制作ですが、既に完成して成果品は流していますか。
香川担当長	昨年度制作し、なでしこサッカー交流大会などのイベントや、丸亀駅構内でのなでしこPRコーナーで流しています。
重成課長	庁舎ロビーのデジタルサイネージでも定期的に流しています。中讃テレビでも、なでしこサッカー交流大会の際などに放送してもらっています。
岩永委員	この映像を市のホームページなどで一般公開する予定はありますか。私も見たかったですし、見たいと思う人もいると思います。
重成課長	検討します。
鹿子嶋会長	女子サッカー発祥の地と掲げているわけですからね。
岩永委員	丸亀高校演劇部の話題もありました。
重成課長	CMには、丸亀高校演劇部の生徒が出演しています。
高濱副会長	丸亀高校演劇部の作品については映画化することも決まっています。女子サッカーに関しては、市も一過性に終わらない取組としてやっていると認めています。人口が減少するなか、プロスポーツだけの取組となると対象が限られて

<p>宮武委員</p>	<p>きますので、地域の特長を出せるような予算付けも意識して欲しいと思います。</p> <p>Jリーグについては、観客数など定量的な目標管理について、行政としての支援だけでなく、チームから具体的な取組を引っ張り出し、それを見えるようにすべきです。</p>
<p>重成課長</p>	<p>地元から有名選手が出れば盛り上がります。そのための取組は何かありますか。</p> <p>体育協会などとも協議したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>
<p>鹿子嶋会長</p>	<p>2. リノベーションまちづくりの推進 (ヒアリングに出席した都市計画課職員) 副課長 富士川貴、計画担当長 石川真司</p>
<p>富士川副課長</p>	<p>官民連携と言われて久しいですが、この取組は民間主体というイメージが強いです。市としての関わり方はどのように考えていますか。</p>
<p>鹿子嶋会長</p>	<p>民間主体でというのが最終目標です。ただ、リノベーションマインドの醸成や、人の繋がりを創り出す意味で、最初の立ち上がりは行政が関わる必要があると考えています。</p> <p>また、取組を進めるなかで官の役割もあると考えています。例えば、不動産のオーナーと民間事業者のマッチングを家守会社が進めていく過程で、考え方に馴染みがない場合などは行政のサポートが必要です。</p>
<p>石川担当長</p>	<p>この業務の委託先は、リノベーションに関して様々なノウハウを持っているようですが、今後どれくらい継続して委託する予定ですか。</p>
<p>富士川副課長</p>	<p>委託は平成30年度で終了しています。今年度は、昨年度立ち上がりました家守会社を中心に地元の人材で取り組んでいく予定です。</p>
<p>鹿子嶋会長</p>	<p>委託先のリノベリングは東京の事業者で、この事業の最初の立ち上げに際して先駆者としてのノウハウが必要でしたが、地元には地元のやり方があると考え、地元のメンバーで立ち上げた家守会社を中心とした取組に変えていこうとしています。</p>
<p>石川担当長</p>	<p>もう少し市の役割を増やしてはどうでしょうか。東京都のある区では、リノベーションまちづくりの要綱があります。リノベーションまちづくりのイメージや構想を作る考えはありませんか。</p>
<p>石川担当長</p>	<p>要綱ではありませんが、実現に向けた手法や方向性を示した「リノベーション</p>

鹿子嶋会長	<p>まちづくりのススメ」という冊子を昨年度に作成しました。</p> <p>リノベーションには2種類あって、民間主導による小型のものと、自治体の持つ公有地を活用するような大型のケースがあると思います。都市計画にも絡むと思いますが、丸亀市リノベーションまちづくり構想のようなものを作って発展させる考えはありますか。</p>
富士川副課長	<p>現在は、中心市街地活性化の一手法として考えており、大きな公共投資も難しい面があるなかで、丸亀駅北側の地区をモデル地区として取り組んでいるところです。</p>
佐藤（友）委員	<p>成果指標であるプロジェクト実施件数の目標値3件は年間ですか、2021年度までの目標ですか。また、民間からの自発的な動きを待つのか、ある程度行政側から働きかけるのでしょうか。</p>
富士川副課長	<p>2021年度までの合計目標で、現時点では1件です。起業の部分については事業者で、市としては家守会社と協力しながら適当な物件の発掘や事業者のニーズに合った物件とのマッチングなどのサポートはしたいと考えています。</p>
佐藤（友）委員	<p>何件か感触はありますか。</p>
富士川副課長	<p>希望されている事業者は数件あります。物件のオーナーと事業者双方の希望が合致するという点がなかなか難しく、オーナーの理解を得る努力がもう少し必要であり、物件の発掘も課題となっています。</p>
佐藤（友）委員	<p>成功事例がテレビ放映されることもあり、自分も何かをしたいけれど、どうすれば良いのだろうという思いをもっている方も潜在的にいると思います。</p>
富士川副課長	<p>家守会社の主催により、自分たちのネットワークを活用した丸亀での会議なども行われています。</p>
桑田委員	<p>成果目標の件数は、例えば個人が実家を店舗に改修するケースは含まず、家守会社を通じて実現した物件という理解でよろしいですか。</p>
富士川副課長	<p>お見込みのとおりです。リノベーションのマインドが広がることで、数字に表れない成果が出て、まちの活性化に繋がるとも考えています。</p>
鹿子嶋会長	<p>家守会社の具体的な役割、空き家バンクとの違いはどうか。</p>
富士川副課長	<p>空き家バンクは、香川県不動産協会や宅建協会の協力を得て、オーナー自らが</p>

	<p>活用して欲しいという物件を登録する制度です。家守会社は、エリアの物件を調査しながら、物件オーナーとの調整やマッチング、事業者の発掘まで含めた内容が中心となります。</p>
鹿子嶋会長	<p>家守会社はあくまで事業前提ということですね。物件に関して言えば不動産業界が一番情報を持っていると思いますが、そここのパイプのようなものはどう考えていますか。</p>
石川担当長	<p>まだこれからですが、宅建協会の協力を得て先ほどの冊子の設置や家守会社との連携も検討していきたいと考えています。</p>
岩永委員	<p>昨年度までで業務委託は終了したとのことですが、今年度も同額程度の予算が組まれています。どのような内容ですか。</p>
石川担当長	<p>実際の物件を用いた実践講座のほか、港エリアの魅力を発信するウェブサイトの開設、空き家や空き店舗のデータベース作成を予定しています。</p>
宮武委員	<p>ゆめタウン周辺では宅地開発等も進んでいますが、一方で空き家の増加も目立ち、住環境の面で問題がありますが、何か対応していますか。</p>
窪田課長	<p>空き家対策は別の部署で実施しています。この事業は空き家の利活用という視点で、分けて考えていただければと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>家守会社がうまく機能すれば、今後期待が持てそうです。</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>
	<p>3. 6次産業化の支援 (ヒアリングに出席した農林水産課職員) 課長 奥田孝彦、副課長 川池伸康</p>
鹿子嶋会長	<p>参加者からは参加事業者がもう少し増えればという意見が多いようですが、今後どのような対応を考えていますか。</p>
川池副課長	<p>瀬戸内中讃定住自立圏域で取り組んでいる事業であり、基本的には圏域内の生産者と加工・流通・販売事業者でマッチングを行っています。参加者については、圏域内だと限られますので、商工会議所等の関係機関だけでなく、融資先の金融機関やかがわ産業支援財団の協力も得ながら募集をかけており、圏域外の事業者等も参加いただいています。県下でも複数の取組があることから、なかなか参加者が伸びない点があります。29・30年度は年に1回マッチングの機会を設けて実施していましたが、今年度は10月から専用窓口を設置し、随時受付・相談を行う</p>

	<p>予定です。</p>
鹿子嶋会長	<p>随時受付ということは、窓口でそれぞれの情報を閲覧できるような状態にするということですか。</p>
川池副課長	<p>パンフレットのようなものを作成し、合わせてホームページに入力フォームを設けて、生産者は生産量やその時期の目安を、事業者側も必要な量や時期を情報提供し、マッチングする仕組みを作っていきたいと考えています。</p>
鹿子嶋会長	<p>事後アンケートでは、継続状態になった商談が頓挫しているケースが何件か見受けられました。小さな不満が溜まることも参加者の減少に影響すると思いますが、改善は考えていますか。</p>
川池副課長	<p>生産者には随時声かけを、事業者等にも追跡調査を行う予定です。</p>
佐藤（友）委員	<p>成果指標の商品開発件数は、目標値からすると年に1件くらいの目標ペースでしょうか。</p>
川池副課長	<p>この事業は、圏域の2市3町との協議により、平成29年度から3年間の予定で進めており、1つの自治体で1つずつできればという目標を立てました。</p>
岩永委員	<p>4件マッチングが成立していましたが、その内容は是非アピールしていただければと思います。6次産業と聞いて、わからないとすぐあきらめる方もいるでしょうから、それを見た方がその方法ならうちもできると思わせるような工夫やしかけが必要と思いました。</p>
佐藤（友）委員	<p>資料の「やわらか親どり」はどういったものですか。</p>
川池副課長	<p>通常は硬い食感の丸亀名物骨付鳥の親鳥を柔らかく仕上げたもので、多度津高校と事業者の協力により、試験的に作られました。</p>
高濱副会長	<p>6次産業の利点は、生産物の収穫量や時期に関わらず、安定的な売上が得られる点だと思います。6次産業化として取り組むのであれば、そのメリットに着目し、生産者と事業者がそれぞれどれくらいの規模の売上を目指していくか、定量的な議論が必要です。</p>
川池副課長	<p>儲かる農業の推進のために始めたもので、製品にならない規格外の商品があれば、例えば加工用として利益に変えて、少しでも生産者に還元できないかという視点で取り組んでいます。売上の追跡なども事業者等と協力しながら研究したいと思っています。</p>

鹿子嶋会長	商談の成立に関わらず、生産者の声が聞けてよかったという意見もあり、マッチング交流会を中止することでその機会が失われる懸念があります。作成されるホームページなどでカバーできると良いのですが。
川池副課長	ホームページに入力される内容は随時チェックし、市側からもマッチングの支援を行いたいと考えています。
桑田委員	マッチング交流会の募集方法、それから、他にも様々な団体が6次産業化に取り組むなかで、市を通して実施するメリットを教えてください。
川池副課長	募集は、市町の担当者から生産者へ直接の働きかけとホームページ、事業者側は商工会議所等を通じてチラシの配布、また、金融機関の協力も得て取引先の実業家や事業者へ声をかけてもらいました。昨年度は、中讃農業改良普及センターが主催する6次産業化イベントの通知に合わせて周知を図りました。
桑田委員	弊社も参加しましたが、他の団体の取組の方がサポートが手厚い点などもあり、チラシを見ただけでは参加したいとなりにくいのが正直なところです。
川池副課長	メリットについては、この事業を農林水産課が担当していますので、生産者側に話を進めやすい点はあります。
桑田委員	市を通じた取組で成果が上がれば、行政や観光協会のイベントなどで販売が可能になったり、仕入れてもらえるようなことは考えられますか。
川池副課長	検討します。
岩永委員	活用できる補助制度があれば、合わせてPRするのも良いと思います。
川池副課長	該当するケースがあれば、その補助制度のある団体へ繋いでいきます。 (終了)
	4. 病児・病後児保育等の充実 (ヒアリングに出席した子育て支援課職員) 課長 林一幸、主事 高畑楓子、非常勤職員 横田紀美子
鹿子嶋会長	内部評価が低い理由と、病児・病後児保育について、市の南部地域での設置が課題となっている経緯を教えてください。
林課長	病児・病後児保育施設については南部地域での開設に至っておらず、計画どお

	<p>りという評価はできませんでした。医師会と協議を進めていますが、初期投資がある程度必要など、経営を考えるうえで受けていただける病院がないという印象を持っています。</p>
桑田委員	<p>現状で市内に小児科はどれくらいありますか。既存の小児科に設ける場合と新規に設ける場合、どちらが現実的ですか。</p>
林課長	<p>小児科の数は手持ち資料がなく申し訳ありません。既存施設でも国の基準を満たすために増築が必要な場合がありますので、どちらかとは言いにくいです。</p>
桑田委員	<p>患者の信頼度からすると、既存施設の方が良いのかとも思いますが、市としてはどちらが良いと考えていますか。</p>
林課長	<p>新たな施設の誘致も難しいので、既存施設で受けていただけるのが良いとは思っています。</p>
鹿子嶋会長	<p>需要供給のバランスからいうと、1ヶ所では足りないですか。</p>
林課長	<p>当初は2ヶ所で1,300人程度を目標としていました。現在、1ヶ所で同人数程度を受け入れていますので、受け皿としては対応できていると思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>例えば1,000人を超えると、運営上限界に近くなるということはないですか。</p>
林課長	<p>施設の多い方が良いとは思っています。立地面でも利便性は向上すると思います。</p>
岩永委員	<p>現在の施設の人員体制はどうなっていますか。</p>
高畑主事	<p>資料は持ち合わせていませんが、看護師と保育士の数については国の基準がありますので、その点は満たしています。</p>
岩永委員	<p>市内で5人以内という定員は少ないと感じます。現在の施設規模で増やすのは難しいのかも知れませんが、利用したくても、預けられないからあきらめている人もいるのではないのでしょうか。また、利用時間が午前8時半からというのも厳しいですし、前日までに連絡が必要など、利用しづらい印象があります。やはり病院に引き受けてもらうしかないのでしょうか。</p>
林課長	<p>基本的にはそうなります。</p>
高濱副会長	<p>実需要はわかりますか。</p>

高畑主事	定員は5人になっていますが、時間をずらすなど工夫して、実際は5人以上受け入れることもあります。断るケースもあるようです。
佐藤（友）委員	断るケースもあるので、もう1ヵ所必要という考えもありますか。
林課長	旧丸亀地域だけでなく、南部地域にもという地域上の意味合いが基本的にあります。
高濱副会長	チラシには対象児童を拡大したとありますが、一方で受入先が充実していなければ整合性が取れません。利用したい方が満足していく利用環境がなければいけません。課題を解決するための一番のポイントは何か考えて取り組む必要があると思います。
鹿子嶋会長	事業自体は適切に実施されているように見受けられますので、もう1施設増やす課題については、別立てで考える必要があるのかもしれませんが。 それから、ファミリー・サポート・センター事業ですが、こちらも需給バランスが気になります。提供会員数の方が少ないですが問題はありませんか。
林課長	委託先からは特に問題が生じている話は聞いておりませんが、提供会員を増やしていくことは課題となっています。
鹿子嶋会長	何か増やすための取組はありますか。例えば報酬を増やすなど、どうでしょうか。
林課長	報酬は、県内でほぼ同じ水準となっています。提供会員は、養成講座などの受講が必要ですので、すぐになれるというわけではないという点はあります。 (終了)
	<p>5. 在宅老人福祉サービスの充実 (ヒアリングに出席した高齢者支援課職員) 副課長 福岡光男、高齢者福祉担当長 藤本知里</p>
鹿子嶋会長	こちらの事業はホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービスが中心になっており、介護保険給付対象者以外の方向けのサービスということですが、それぞれの事業の要綱では、対象者が概ね65歳以上という規定になっています。例えば60歳代前半の方は対象になりますか。
藤本担当長	基本的には65歳以上の方を対象としています。
福岡副課長	もともと65歳までの方が申請するケースはほとんどありませんが、申請がある

	<p>場合は対象者として検討することとなります。</p>
岩永委員	<p>このサービスが必要な人という判断はどのようにされていますか。</p>
藤本担当長	<p>例えば退院後などであれば、医療機関のソーシャルワーカーからの照会を受けて対応するほか、民生委員やご家族、ご本人からの相談を受けて本サービスに繋がっています。</p>
岩永委員	<p>社会福祉協議会などにチェックリストがあって、判断しているわけではないということですね。</p> <p>それから、ホームヘルプサービスの生活管理指導員派遣事業ですが、利用者数が年間13人と限られているなか、軽度生活援助事業と分けて実施している理由はありますか。</p>
藤本担当長	<p>生活管理指導員派遣事業は、精神疾患や知的障がいのある方で、何らかの生活支援が必要な方を対象としています。コミュニケーションが困難なケースが多く、軽度生活援助事業と比べて、臨機応変で特別な対応が必要となる事業です。</p>
福岡副課長	<p>単純な生活支援のサービス提供が軽度生活援助事業で、それだけでは自立した生活が困難な方が利用するサービスが生活管理指導員派遣事業であり、助言や指導の要素も加わってきます。</p>
岩永委員	<p>一人の職員で13人の対応をしているのですか。</p>
藤本担当長	<p>社会福祉協議会のヘルパー数名で対応しています。</p>
岩永委員	<p>介護用品の貸出しは、自立に向けて種類を増やすなど検討されていますか。</p>
藤本担当長	<p>在宅で寝たきりの方を常時介護している家族に対する補助金であり、購入にあたって市側から用品の指定をしているわけではありません。</p>
福岡副課長	<p>そうした方は介護保険の対象となります。介護保険サービスのなかで福祉用具購入の事業もあるため、それ以外の介護用品を購入していただくための補助金となっています。</p>
鹿子嶋会長	<p>ショートステイの送迎回数は示されていますが、何名が利用していますか。</p>
岩永委員	<p>家族の方が連れて行くと送迎回数は減りますので、掴めないと思います。利用可能施設は9箇所ありますが、実績が2箇所に集中している理由はありますか。</p>

藤本担当長	土器川荘と綾歌荘は養護老人ホームで、急な依頼にも対応できることから利用が多くなっています。
岩永委員	在宅福祉サービスの内容はホームページにも載っていますが、あまり知らない人も多く、民生委員からの情報で初めて内容がわかるケースもあります。
藤本担当長	広報紙にも年に数回掲載しており、介護保険の受給者証の送付に合わせてチラシを同封し制度の周知を図っています。
岩永委員	利用者側では判断がつかないこともありますので、ケアマネージャーが勧めてくれるのがありがたいですね。 <p style="text-align: right;">(終了)</p>
鹿子嶋会長	最後に、事務局より今後の作業の進め方など説明をお願いします。
秘書政策課 宇野	<スケジュール等について説明>
鹿子嶋会長	それでは、以上で本日の会議を終了します。 <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>